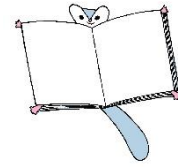


谷川俊太郎さん



2024. 12. 1

美幌図書館長

日本を代表する詩人で、数々の作品を発表し多くの人に愛された谷川俊太郎さんがお亡くなりになりました。その作品は教科書への掲載、学芸会の劇にもよく登場するスイミーの翻訳など、谷川さんのお名前は何度も目にしてきました。皆さんの心にも何か刻まれていることがあるのではないのでしょうか。「生きる」の詩は有名ですが、それとは対称的にご自身の最後を予感させる詩が新聞に載っていました。「目が覚める 庭の紅葉が見える 昨日を思い出す まだ生きてるんだ」そのあとに感謝の言葉が続き、「感謝の念だけは残る」と締めくくられています。作品を読むたびに谷川さんの繊細な感受性がうかがえます。生涯に創作した詩は2500編以上だそうです。谷川さんの功績に敬意を表しますとともに、ご冥福をお祈りいたします。